

国土交通省同時発表

令和6年3月29日



SIWI  
Stockholm Junior  
Water Prize



日本水大賞委員会

委員長：毛利 衛  
(日本科学未来館 名誉館長)

同時発表

環境問題研究会、環境記者会、農政クラブ、農林記者会、文部科学記者会、経済産業記者会

# 第27回日本水大賞

及び

## 2025 日本ストックホルム青少年水大賞

募集のお知らせ

お問い合わせ先

日本水大賞委員会事務局  
公益社団法人日本河川協会  
電話番号 03-3238-9771(代)  
担当：本田

日本水大賞委員会は、令和6年度も「日本水大賞」及び「日本ストックホルム青少年水大賞」の募集を行います。

「第27回日本水大賞」の募集受付は令和6年7月7日（川の日）、「2025日本ストックホルム青少年水大賞」の募集受付は令和6年4月1日に開始します。  
多くの方の応募をお待ちしています。

## 1. 日本水大賞・日本ストックホルム青少年水大賞について

日本水大賞は、日本水大賞委員会（名誉総裁 秋篠宮皇嗣殿下、委員長 日本科学未来館名誉館長 毛利 衛）と国土交通省が主催し、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本を目指して、水循環系の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し、活動を支援するため平成10年に創設され、今回で第27回を迎えます。水に係る活動を行う全ての団体、個人を対象にした我が国で唯一の賞であり、水循環系の健全化を図る上で社会的貢献度が高く、総合的な見地からみて特に優れた活動に対して大賞が贈られます。また、それ以外で優れた活動に対し、その内容に応じ、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞、審査部会特別賞等が贈られます。

日本ストックホルム青少年水大賞(略称：日本SJWP)は、20歳以下の高校・高等専門学校の生徒または地域の活動団体などに所属する方々による水環境に関する調査研究活動や調査研究に基づいた実践的活動を表彰します。

日本SJWPの大賞受賞者は、8月にスウェーデン王国のストックホルムで開催される国際コンテスト【Stockholm Junior Water Prize】に日本代表として参加して頂きます。

## 2. 第27回日本水大賞の募集要項の公表

【募集期間】令和6年7月7日～10月31日（郵送は当日消印有効）

日本水大賞は、令和6年7月7日より募集を開始します。詳細は日本水大賞の募集要項（資料-1）またはホームページをご覧ください。

日本水大賞 ホームページ

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>



## 3. 2025日本SJWP（SJWP日本代表選考会）の募集開始

【募集期間】令和6年4月1日～9月30日（郵送は当日消印有効）

日本ストックホルム青少年水大賞は、令和6年4月1日より募集を開始します。詳細は日本SJWPの募集要項（資料-2）またはホームページをご覧ください。

日本ストックホルム青少年水大賞 ホームページ

<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



## 第27回日本水大賞募集要項

## 1. 目的

地球は水の惑星といわれており、水は自然界の中で循環し、その過程で災害により幾多の被害をもたらす一方で、人間を含む地球上の生命を育み、生存を支え、汚染を浄化してきました。

我が国は、高度成長期を通じて、都市への人口の集中と産業活動の集積、産業形態の変化等が進み、国民の生活も高度化が進んできました。この過程の中で降雨の流出および水利用の形態の変化による悪影響、水質の悪化、生物の多様性の喪失等、水循環系に関する様々な看過できない弊害が露呈してきました。

それに加え、近年の地球規模での気候変動等を背景として、気象条件が不安定となり、我が国においても豪雨の多発化や小雨傾向が顕著になってきました。

このような人為的な活動および地球規模の気候変動による水循環系の変化は、現代社会の持続可能な発展を根底から揺るがす恐れもあり、重大な認識を持って健全な水循環系の再生に取り組まなければなりません。健全な水循環系とは、流域を中心とした一連の水の流れの過程において、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスのともに確保されている状態のことです。

こうした健全な水循環系の再生は、産学官はもとより民間非営利組織（NPO）や一般住民の方々まで含めて、流域全体が一体となって取り組む必要があります。

東日本大震災での津波による未曾有の被害は、まだ記憶に新しいところです。また、広い範囲に影響を及ぼす台風や豪雨等の自然災害が全国各地で毎年のように発生し、住民の逃げ遅れや家屋の浸水などにより甚大な被害が発生しています。このような大規模な水災害を受けた地域の復興にも同様な取り組みが求められます。

日本水大賞は、21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環系の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています。

## 2. 募集の対象

## (1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

- ① 水防災：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
  - ・防災教育を地域や学校等で行っている
  - ・住民避難の円滑化に関する新たな視点を用いた独自の取り組みを行っている
  - ・水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する（水災害に関わる情報をタイムリーに取得・伝達する、ハイテク機器・文化財・ライフライン等を水災害から守る）
  - ・雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す
  - ・河川の伝統的技術や災害体験の伝承等の啓発・普及
- ② 水資源：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
  - ・水を大切にする
  - ・山や川などの水源地を大切にする
  - ・水の様々な役割（農業用水、工業用水、水道用水）
- ③ 水環境：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
  - ・川や湖沼、海などの水をきれいにする
  - ・水辺や水のある地域づくりを行う
  - ・水にかかわる体験活動、環境学習を進める
  - ・生き物の保全にかかわる活動
- ④ 水文化：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
  - ・水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める

- ・水や川や湖沼、海などの文化を創り、広める（芸術、文学を含む）
  - ・地域における水文化や水に関わる遺産（制度、慣習、施設等）を発掘又は普及する
- ⑤復興：上記の①から④に該当する諸活動のうち、地域の復興の視点から実施されるもの

\*その他、上記に係る国際的な連携・技術協力・学会活動等

\*日本ストックホルム青少年水大賞への応募については、上記に係る調査研究および調査研究にもとづいた実践的活動（詳細は「日本ストックホルム青少年水大賞募集要項」を参照してください）

## (2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

### ①学校

- ・小学校における川や水をテーマにした総合的な学習やクラブ活動など
- ・中学校、高等学校における全校的な社会的活動やクラブ活動など  
 なお、高等学校または同等の学校で、「日本ストックホルム青少年水大賞」に応募する場合は、「日本ストックホルム青少年水大賞募集要項」による（日本水大賞は活動重視、日本ストックホルム青少年水大賞は研究重視となります）
- ・大学、専門学校などにおける実習やサークル活動など  
 なお、研究や技術開発については、その成果が社会貢献につながるものを対象とし、いわゆる純粋な学術研究にとどまっているものを除く

### ②企業

- ・企業が行う生産過程などにおける環境対策、社会や地域への貢献活動、技術や装置などに関するビジネス活動や製品・サービスを通じた社会貢献や国際貢献に優れた実績を上げたもの

### ③団体

- ・NPOなど民間で組織する団体または法人が行う諸活動
- ・自治会による水害時の住民の安全を確保するための取組みなど

### ④個人

- ・個人が主体で行っていると認められる研究や技術開発、文化活動または節水、水質保全のための生活改善運動などの諸活動

### ⑤行政

- ・地方自治体による水害時の住民の安全を確保するための取組みなど
- ・地方自治体の市民連携活動および政策や制度など
- ・水防団、消防団などで行う活動など

以前に応募された活動主体や奨励賞、未来開拓賞、審査部会特別賞を受賞された活動主体もふらつてご応募ください。過去に「日本ストックホルム青少年水大賞」を受賞された活動主体も応募が可能です。また、日本水大賞、日本ストックホルム青少年水大賞への同時応募も可能です。（応募要項は日本水大賞と異なりますので、日本ストックホルム青少年水大賞募集要項を参照してください）

なお、これまでに「日本水大賞」（大賞、大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞）を受賞された活動主体も①受賞後の活動に発展性がある場合、または②受賞した内容・活動が異なる場合は応募が可能です。①の場合は受賞後に発展した内容を記入してください。

## 3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続・発展していただくよう授与しています。また、受賞活動以外で今後に期待出来るもの（10件以内）に対して奨励賞（副賞2万円）を授与します。

### ①大賞【グランプリ】（副賞200万円）

水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から特に優れたものに対して授与します。

### ②大臣賞（副賞50万円）

各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

【国土交通大臣賞】

河川の環境や保安、水資源の有効活用、水防活動の円滑化や防災、安全な飲み水の供給に関わる活動など

【環境大臣賞】

人と健全な水環境のふれあい、生物の生息環境の保全に関わる活動など

【農林水産大臣賞】

農林水産業の振興、農業水利に関わる活動など

【文部科学大臣賞】

学校が主体になった活動、教育の振興に関わる活動など

【経済産業大臣賞】

水力エネルギーの供給、工業用水の供給に関わる活動など

③市民活動賞【読売新聞社賞】（副賞30万円）

市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。

④国際貢献賞（副賞30万円）

活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め、大きな功績をあげたものに対して授与します。

⑤審査部会特別賞（副賞10万円）

活動がユニークなものなど、審査部会において特に表彰に値すると判断されたものに授与します。

#### 4. 審査の方法

日本水大賞委員会の下に、上記の3. の賞を選考するために審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本水大賞委員会が決定します。

#### 5. 審査基準

以下の項目などを基準に審査します。すべての項目に該当している必要はなく、いずれかの項目において優れている活動についても受賞対象となります。

- ・対象となる活動が時代のニーズに適合し、緊急性が高いもの  
（活動の意義、必要性、重要性、緊急性の視点）
- ・対象となる活動が水循環の健全化に大きく寄与し、または寄与することが期待できるもの  
（活動の効果、社会への波及効果の視点）
- ・対象となる活動が困難であるにもかかわらず、創意工夫を重ね、積極的に取り組んでいるもの  
（注意した点、工夫した点、苦労した点の視点）
- ・対象となる活動が長年にわたり継続的に実施され、または今後とも継続的に実施されることが期待され、水循環の健全化に寄与するものとして広く認知されているもの（継続性の視点）
- ・その他、活動の内容に応じて以下の要件についても審査する
  - 1) 研究、技術開発活動においては、対象となる活動の成果が広く社会に普及して水循環の健全化に役立つもの（いわゆる学術論文は除く）
  - 2) 地方自治体・市民団体等の活動においては、対象となる活動が地域の要望ならびに地域の特性を十分踏まえ、独創性に優れ、水循環の健全化に寄与するもの
  - 3) 企業の製品開発や生産過程における環境対策、社会や地域への貢献活動、技術や装置などに関するビジネス活動や製品・サービスの普及努力による社会貢献や国際貢献への実績などを通じて、水循環の健全化に対して大きな効果をあげたもの
  - 4) 国際的なNPOの連携、国際学会における活躍、海外に対する支援・協力など、国際的に大きな功績をあげたもの

#### 6. 募集期間

2024年 7月 7日 ~ 10月31日（郵送の場合は当日消印有効）

## 7. 応募方法

応募用紙（4枚）に必要事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を送付または持参してください。応募用紙の記入方法は、できる限りWordをご使用の上、字体は明朝体、10.5ポイント以上でお願いします。その際、応募用紙A4サイズ片面4枚を超えることはできません。提出は出力書類とあわせて電子データ（CD-ROM等）もお願いします。（手書きの場合は、電子データは不要です）。

応募用紙のほか、活動の様子を紹介する新聞記事やその他資料がありましたらA4サイズ4枚以内（片面印刷）で1つのデータにまとめて添付してください。また、演劇・音楽活動においては活動内容のわかる動画や曲を収めた資料（CDもしくはDVDで10分以内とする）を添付することも可能です。応募用紙および添付資料が電子データの場合は、E-mail（[taisyo@japanriver.or.jp](mailto:taisyo@japanriver.or.jp)）でも応募を受け付けます。（メール送信後、必ず確認の電話をしてください）

ご応募いただいた書類は、日本水大賞委員会に帰属するものとし、書類を基に資料を作成・公表することを妨げないものとします。（入賞作品についてはホームページ上で公開いたします。）ご応募いただいた書類、資料は返却いたしません。

また、受賞された方には別途、「受賞活動集」に掲載する記事の執筆をお願いします。

応募用紙の取得は、ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

（諸事情によりダウンロードができない方はご連絡ください）

※応募で取得した個人情報は、個人情報保護に関する法律の法令および関係法令を遵守します。

## 8. 審査結果の公表

審査の結果は、令和7（2025年）4月頃までに公益社団法人日本河川協会のホームページで公表する予定です。また、入賞者には個別にご連絡いたします。原則として入賞者以外の方に個別に連絡はいたしません。

## 9. スケジュール

令和6年	7月 7日【川の日】	日本水大賞募集開始
	10月31日	応募締め切り（郵送の場合は当日消印有効）
令和6年	11月～令和7年3月（予定）	審査
令和7年	3月下旬～4月上旬（予定）	大賞等各賞受賞者の発表
	6月中旬～7月上旬（予定）	表彰式および受賞活動発表会の開催

※スケジュールは変更の場合があります。変更が生じた際は、ホームページでお知らせいたします。

## 10. 主催等

### (1) 主催

日本水大賞委員会及び国土交通省

日本水大賞委員会 (2024年3月現在)

名誉総裁 秋篠宮皇嗣殿下

委員長 毛利衛 (日本科学未来館 名誉館長)

副委員長 甲村謙友 (公益社団法人日本河川協会 会長)

委員 赤星たみこ (漫画家・エッセイスト)、浅枝隆 (埼玉大学 名誉教授) 大垣眞一郎 (東京大学 名誉教授)、岡田光正 (広島大学 名誉教授)、岡村隆吉 (一般社団法人日本経済団体連合会 廃棄物・リサイクル部会長代行)、櫻野泰則 (一般社団法人日本建設業連合会 環境委員長)、清水芳久 (京都大学 名誉教授)、進士五十八 (東京農業大学 名誉教授)、名執芳博 (特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合 相談役)、前木理一郎 (読売新聞東京本社 専務取締役編集局長)、村田和夫 (株式会社建設技術研究所 相談役)

特別委員 国土交通事務次官、環境事務次官、農林水産事務次官、  
文部科学事務次官、経済産業事務次官

### (2) 後援

内閣官房水循環政策本部、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、公益財団法人河川財団、公益社団法人環境科学会、独立行政法人国際協力機構、公益社団法人砂防学会、一般社団法人水底質浄化技術協会、一般社団法人水文・水資源学会、スウェーデン大使館、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)、全国市町村教育委員会連合会、全国水防管理団体連合会、一般社団法人全国治水砂防協会、全国都道府県教育委員会連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、特定非営利活動法人全国水環境交流会、一般社団法人地域環境資源センター、電気事業連合会、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本河川協会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人日本下水道協会、地方共同法人日本下水道事業団、一般社団法人日本工業用水協会、公益社団法人日本港湾協会、公益財団法人日本自然保護協会、一般社団法人日本森林学会、公益社団法人日本水道協会、日本生活協同組合連合会、一般財団法人日本ダム協会、公益社団法人日本地下水学会、公益社団法人日本水環境学会、公益財団法人日本野鳥の会、日本陸水学会、公益社団法人農業農村工学会、独立行政法人水資源機構、読売新聞東京本社

### (3) 協賛

株式会社建設技術研究所、株式会社東京建設コンサルタント、日本工営株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、いであ株式会社、八千代エンジニアリング株式会社、応用地質株式会社、共和コンクリート工業株式会社、「川の日」実行委員会

## 11. 送付先・問い合わせ先

公益社団法人日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E. C. Kビル3階

TEL 03-3238-9771 FAX 03-3288-2426

URL <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/> E-mail: taisyo@japanriver.or.jp

日本水大賞委員会事務局 担当 (平日9:15~17:30)

**〈本事業は、公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています〉**



## 2025日本ストックホルム青少年水大賞 (ストックホルム青少年水大賞日本代表選考会) 募集要項

### 1. 日本ストックホルム青少年水大賞の目的

水質汚濁、水資源の不足、洪水災害などの水問題は、21世紀が水の世紀になるといわれるほど国際的に大きな課題になっています。そのため、すでに国内はもとより、世界各国の関係するあらゆる分野で国際的な協力の下に様々な取り組みが進められています。これらの国際的、かつ総合的な取り組みが、持続可能な水資源の管理にとって必要不可欠であり、将来を担う青少年の水問題に対する理解と努力に大きな期待が寄せられています。

日本においても、近年は水環境問題に対する児童、生徒の関心が高くなり、学校や地域社会で環境保全のための有意義な活動が活発に行われるようになりました。高校においては、実践的な社会活動とともに、水質保全、河川生態、水資源管理などの川や水に関する学術的な調査研究も積極的に実施されています。その結果、これまでの日本水大賞においても高等学校から多くの応募があり、受賞の栄に輝いています。

一方、スウェーデンにおいては、ストックホルム国際水研究所が、世界的に権威のあるストックホルム水大賞の一環としてストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズ（以下SJWPという）を実施しています。そこでは世界各国の青少年を対象にして水質、水資源管理、水域の保護、浄水・排水処理、水教育、水の社会的側面の改善に寄与する調査研究活動を表彰しています。このSJWPの国際コンテストは、ストックホルムにおいて毎年夏の世界水週間の期間中に行われ、各国から選出された代表者が、調査研究の成果を発表して受賞者が決定されています。

そこで2002年から日本水大賞の中に日本ストックホルム青少年水大賞を設け、SJWPに派遣する候補を選定しています。本賞の実施にあたり日本水大賞委員会が、企画・運営・審査を行っています。

### 2. 募集の対象

#### 2-1. 応募者の条件

国際コンテスト開催時に20歳以下で、高等学校または同等の学校（高等専門学校については1～3年生まで）に在籍している生徒が応募できます。学校・団体としての応募も、個人としての応募もともにできます。

大学生（高等専門学校については4年生以上）は、20歳以下であっても応募はできません。但し、高等学校等を卒業して国際コンテストの参加時に大学生であっても、高等学校等在籍時に実施したプロジェクトの実施者に限り参加は可能です。

#### 2-2. 応募活動の内容

日本ストックホルム青少年水大賞は、地球温暖化により深刻化する洪水や渇水への対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活や社会の質の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的および応用的な調査研究活動を対象とします。なお、方法、実験、観測、結果報告、統計解析を含めた論議において科学的に妥当な手法を用いてください。日本水大賞に応募した課題（プロジェクト）も、応募条件を満たしていれば応募できます。



### 3. 日本ストックホルム青少年水大賞の内容

応募いただいた作品の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与します。

大賞【グランプリ】：賞状・副賞20万円、国際コンテストへの参加費用（詳細は9-4参照）

優秀賞：賞状・副賞10万円

審査部会特別賞：賞状・副賞10万円

### 4. 応募方法

#### 4-1. 提出書類

ワードやPDFで作成した電子データ（CDなど）と紙に出力した書類を提出してください。

応募用紙の取得は、ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



#### ①日本ストックホルム青少年水大賞申請書

A4サイズの用紙に以下の事項を記載してください。

- ・ 調査研究の課題（フリガナ）
- ・ 学校名（フリガナ）
- ・ 学校の住所（フリガナ）、電話番号、FAX、E-mail
- ・ 指導教員などの氏名（フリガナ）
- ・ 応募者の氏名、団体・学校名。（学校・団体としての応募の場合は、団体・学校名の下に代表者2名以内の氏名（フリガナ）を記載してください。
- ・ 個人としての応募の場合は氏名（フリガナ）、住所（フリガナ）、連絡先電話番号など、電子メールアドレス（あれば）
- ・ 代表者あるいは応募者の生年月日とできれば性別（団体・学校の場合は、代表者2名以内）
- ・ 代表者あるいは応募者の略歴と将来の志望（団体・学校の場合は、代表者2名以内）
- ・ 代表者あるいは応募者の過去の受賞歴
- ・ 代表者2名以外に共同研究者がいる場合には、氏名などを記載することができます。ただし、国内の二次審査（発表と面接）、国内での表彰式での発表、国際大会への参加と発表は、代表者2名以内で行ってください。ただし、指導教員など1名が随行することはできません。

#### ②調査研究報告書

報告書は次のような章立てが原則ですが、多少の変更は可能です。

表紙（表題、学校名、代表者などの氏名、指導教員などの氏名）

和文要旨（500字以内）英文要旨（300語以内）、キーワード（和文と英文5語以内）

序論、略号など一覧、研究の材料と方法、結果、考察（どのような水問題を解決するかを含めることが望ましい）、結論（なくてもよい）、参考文献、謝辞（プロジェクトを援助してくれた人の氏名と所属など、援助の内容、感謝の言葉）、補充資料

スタイルなど

報告書はA4の用紙（標準余白）に日本語あるいは英語で書いてください。10ページ程度にまとめてください。図表や写真は判りやすいサイズで、本文中の適当な位置に貼り込んでください。日本語の場合は、縦方向横書きで1ページに40字40行、書体は明朝体、10.5ポイントを基本とします。

英文の場合は、同じ用紙設定で、行間1.5、Times系の12ポイントを基本とします。

## 4-2. その他

ホームページでは、日本ストックホルム青少年水大賞の過去の各賞受賞作品を公開しています。日本水大賞委員会が、ご応募いただいた書類を基に、広報等のための資料を作成、公表することを妨げないものとします。また、入賞作品についてはホームページ上で公開いたします。ご応募いただいた書類、資料は返却いたしません。

※応募により取得した個人情報は、個人情報保護に関する法律の法令および関係法令を遵守します。

## 5. 募集期間

令和6年4月1日～9月30日（郵送の場合は当日消印有効）

## 6. 審査の方法

水分野の専門家によって構成される審査部会において書面審査し、上位数チームが選ばれます。次にその上位数チームを対象に二次審査を行います。

（ご応募いただいた学校には、事務局より二次審査日などを連絡します。）

## 7. 審査基準

### 7-1. 一次審査（書面）

以下の基準（ストックホルム青少年水大賞に準拠）に従って書面審査が行われ、上位数チームが選出されます。

#### ○妥当性

- ・プロジェクトは、水が抱える重要な課題に的確に取り組んでいるか
- ・科学的妥当性があるか（基礎研究、応用研究に相当する科学的水準に達しているか。また結果が直接現場で利用できるか）
- ・プロジェクトは、環境または生活の質の向上に貢献している内容か
- ・プロジェクトは、未解決の問題に新しい解決法を提案しているか
- ・水問題に対する意識を高めるものであるか
- ・環境問題と社会問題を融合する内容であるか

#### ○独創性（プロジェクトには、以下に関する独創性がみられるか）

- ・着眼点
- ・問題解決の方法
- ・データ解析
- ・実験あるいは調査
- ・実社会での問題提起・啓発

#### ○方法論

- ・明確な発想に基づいて結果を得ようとしているか
- ・問題点は明確にされているか
- ・問題点をどのように限定しているか
- ・それによって作業が計画されているか
- ・結論を裏付けする十分なデータがあるか
- ・データの解釈を違える可能性が考慮に入れられているか
- ・調査を継続するための新たな疑問や提案があるか

○テーマに関する知識（関連分野の文献や実施中の調査にどの程度、精通しているか）

- ・ 調査研究はどのような出典に基づいているか
- ・ 参考文献の一覧表は適切か（参考文献は実際に利用されたのか）
- ・ 科学に関する一般的な情報源をどの程度、参考になっているか
- ・ 取り上げたテーマに精通しているか
- ・ 取り上げた分野での最新の調査研究や専門用語について知識があるか
- ・ 本研究成果以外にも代替的な解決策を知っているか

○実用技術

- ・ 保護者、教師、専門家からはどのような支援を受けたか
- ・ 実験、測定などをおこなったか
- ・ 学校で入手可能な材料（知識・道具・設備）を利用したか
- ・ 利用可能な技術が十分に活用されているか

○報告書

- ・ プロジェクトを正しく適切に表現できているか
- ・ 報告書で使用した文章、イラスト、図表、語彙は適切であるか

## 7-2. 二次審査（発表と質疑応答）

以下の審査基準に従って、一次書面審査で選出された上位数チームに対し、2分程度の概要説明（英語）、10分程度のプレゼンテーションソフトでの発表と質疑応答による審査が行われます（日本語あるいは英語）。審査地は東京（予定）で生徒2名以内、指導教員など1名の規定の旅費（遠隔地の場合は規定の宿泊費）を日本水大賞委員会が負担します。

○プレゼンテーションソフトによる発表と質疑応答

- ・ プレゼンテーションによる活動発表内容は正しく表現できているか
- ・ プレゼンテーションと報告書に適切な関係があるか
- ・ プレゼンテーションに独創性や個性があるか
- ・ 魅力的なプレゼンテーションであるか

## 8. スケジュール

令和6年	4月 1日	募集開始
	9月30日	応募締め切り（郵送の場合は当日消印有効）
	10月下旬～11月上旬（予定）	一次審査（書面）
	11月下旬～12月上旬（予定）	二次審査（発表、質疑応答）
令和7年	3月中旬～4月上旬（予定）	各賞の受賞者の決定・発表
	6月中旬～7月上旬（予定）	表彰式および受賞活動発表会
	8月上旬～9月上旬（予定）	SJWP国際コンテスト参加

※上記のスケジュール等は変更の場合があります。変更が生じた際は、日本ストックホルム青少年水大賞のホームページでお知らせいたします。

日本ストックホルム青少年水大賞ホームページ  
<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



## 9. SJWPについて

### 9-1. SJWP国際コンテスト

国際コンテストは、毎年夏、世界水週間の期間中にストックホルムで開催されます。この間、各国から選出された候補者は約1週間ストックホルムに招待されます。これらの候補者は、事前に英文報告書を提出し、国際コンテストの期間中には、調査研究を紹介するポスターやDigital-Poster(デジタルのタッチスクリーン)等を使用して審査員に説明し、質問に答える必要があります(この際、必要に応じて指定の通訳が用意されます)。

### 9-2. SJWPの賞金

SJWPの優勝者には15,000USドル、学校には5,000USドル、優秀賞には3,000USドルの賞金が贈られます。(2023年実績)

### 9-3. 審査

審査は水分野の専門家からなる国際選考委員会により行われ、次の4段階があります。

- 1) 英語論文の検討
  - 2) 事前審査
  - 3) 国際コンテスト会場において生徒と面談し、調査研究についてインタビューする。  
(1組2~3人の審査員の前で、研究発表5分と質疑応答10分を計15分以内で3回行う)
  - 4) 審査基準に基づく大賞受賞作品の決定
- ※審査方法について、変更となる可能性があります。

### 9-4. 費用負担

国際コンテストに参加するために、日本水大賞委員会は以下の費用を規定により負担します。

- ・国際コンテストに提出する調査研究報告書の英文翻訳(必要に応じて)
- ・受賞者2名以内および指導教員1名のストックホルム渡航滞在費用
- ・国際コンテストにおける通訳

### 9-5. その他

SJWPの詳細は、日本ストックホルム青少年水大賞のホームページを参照してください。

<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/>



## 10. 主催等

### 10-1. 主催

日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮皇嗣殿下  
委員長 毛利 衛

### 10-2. 後援

内閣官房水循環政策本部、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、公益財団法人河川財団、公益社団法人環境科学会、独立行政法人国際協力機構、公益社団法人砂防学会、一般社団法人水底質浄化技術協会、一般社団法人水文・水資源学会、スウェーデン大使館、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)、全国市町村教育委員会連合会、全国水防管理団体連合会、一般社団法人全国治水砂防協会、全国内水面漁業協同組合連合会、全国都道府県教育委員会連合会、特定非営利活動法人全国水環境交流会、一般社団法人地域環境資源センター、電気事業連合会、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本河川協会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人日本下水道協会、地方共同法人日本下水道事業団、公益社団法人日本港湾協会、公益財団法人日本自然保護協会、一般社団法人日本森林学会、公益社団法人日本水道協会、日本生活協同組合連合会、一般財団法人日本ダム協会、公益社団法人日本地下水学会、公益社団法人日本水環境学会、公益財団法人日本野鳥の会、日本陸水学会、公益社団法人農業農村工学会、独立行政法人水資源機構、読売新聞東京本社 他

### 10-3. 協賛

株式会社建設技術研究所、株式会社東京建設コンサルタント、日本工営株式会社、パシフィックコンサルタント株式会社、いであ株式会社、八千代エンジニアリング株式会社、応用地質株式会社、共和コンクリート工業株式会社、「川の日」実行委員会

### 11. 送付先・問い合わせ先

公益社団法人 日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E. C. Kビル3階

TEL 03-3238-9771 FAX 03-3288-2426

URL <http://www.japanriver.or.jp/sjwp/> E-mail [taisyo@japanriver.or.jp](mailto:taisyo@japanriver.or.jp)

日本水大賞委員会事務局 担当 (平日9:15~17:30)

<本事業は、公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています>



第27回

# 日本水大賞

2025日本ストックホルム青少年水大賞

「地球、水、未来を考える」

日本水大賞委員会 委員長 毛利 衛

イラスト デザイン 大島 涼夏  
(筑波大学芸術専門学群)

募集期間

日本水大賞 2024年 7月7日~10月31日

日本SJWP 2024年 4月1日~ 9月30日

日本水大賞 大賞(副賞200万円) 大臣賞(副賞50万円)  
市民活動賞(副賞30万円) 国際貢献賞(副賞30万円)

日本ストックホルム青少年水大賞(日本SJWP)

大賞(副賞20万円) ストックホルム青少年水大賞(国際コンテスト)へ  
日本代表として参加

主催：日本水大賞委員会、国土交通省

名誉総裁：秋篠宮皇嗣殿下

後援：内閣官房水循環政策本部、外務省、文部科学省、農林水産省、

経済産業省、環境省、読売新聞社、スウェーデン大使館 他

協賛：株式会社建設技術研究所、株式会社東京建設コンサルタント、

日本工営株式会社、バシフィックコンサルタンツ株式会社、

いであ株式会社、八千代エンジニアリング株式会社、

応用地質株式会社、共和コンクリート工業株式会社、「川の日」実行委員会

【お申込み・お問い合わせ】

日本水大賞委員会 事務局 公益社団法人 日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5麹町E.C.Kビル3階

TEL 03-3238-9771 (平日9:15~17:30) FAX 03-3288-2426

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。



表彰式・動画



受賞活動一覧



日本水大賞HP



日本SJWP HP

# 日本水大賞

## (1) 対象となる活動の内容(活動分野)

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。(\*純粋な学術論文は除きます)

### ①水防災

防災教育、住民避難の円滑化への取組み  
水防災に対する安全性の向上に資する技術の開発・普及等

### ②水資源

水を大切に取る取組み、山や川などの水源地を大切に取る取組み等

### ③水環境

川や湖沼、海などの水をきれいに取る取組み、水辺や水のある地域づくりを行う活動、水にかかわる体験活動、環境学習を進める活動、生き物の保全にかかわる活動

### ④水文化

水や川、湖沼や海などに対する敬意と親愛を高める活動  
水や川、湖沼や海などの文化を創り、広める活動(芸術、文学を含む)  
地域における水文化や水に関わる遺産(制度、習慣、施設等)を発掘又は普及する活動

### ⑤復興

上記の①～④に該当する活動のうち、地域の復興の視点から実施されるもの

\*その他、上記①～⑤に関係する国際的な連携・技術協力・学会活動等

## (2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校・企業・団体・個人・行政が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

## 日本水大賞の内容

応募いただいた活動の中から、特に、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。また、受賞活動以外で今後に期待出来るもの(10件以内)に対して奨励賞を(副賞2万円)を授与します。

### ①大賞【グランプリ】(副賞200万円)

水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から特に優れたものに対して授与します。

### ②大臣賞(副賞50万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

### ③市民活動賞【読売新聞社賞】(副賞30万円)

市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。

### ④国際貢献賞(副賞30万円)

活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め、大きな功績をあげたものに対して授与します。

### ⑤審査部会特別賞(副賞10万円)

活動がユニークなものなど、審査部会において特に表彰に値すると判断されたものに授与します。

# 日本ストックホルム青少年水大賞

## (1) 対象となる活動主体

国際コンテスト開催時(来年8月頃)に20歳以下で、高等学校または同等の学校(高等専門学校は3年生まで)に在籍する生徒または地域の活動団体に所属している方が応募できます。高等学校等在籍時に実施したプロジェクトに限り、実施者が高校を卒業して大学に進学し国際コンテストの参加時に大学生であっても、国際コンテスト参加は可能です。

## (2) 対象となる活動の内容

日本ストックホルム青少年水大賞は、地球温暖化により深刻化する洪水や渇水への対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活や社会の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的および応用的調査研究活動を対象とします。なお、方法、実験、観測、結果報告、統計解析を含めた論議において科学的に妥当な手法を用いることが条件です。

## 日本ストックホルム青少年水大賞の内容

応募いただいた作品の中から1次書類審査、2次審査(研究発表・面接)を通過した調査研究活動に以下の賞を授与します。

### ①大賞【グランプリ】(副賞20万円、国際コンテストへの参加費用)

### ②優秀賞(副賞10万円)

### ③審査部会特別賞(副賞10万円)

日本水大賞・日本ストックホルム青少年水大賞はそれぞれ専用の「応募用紙」にて応募してください。